



平成19年(2007年)
8月11日号
No.1144

大田区報

元気・いきいき・のびのび大田

- 交通事故をなくすために.....2
- 国民健康保険の届け出.....3
- 区民大学受講生の募集.....4

毎月1・11・21日発行

発行：大田区 編集：広報広聴課 〒144-8621大田区蒲田5-13-14 ☎5744-1111(代) ☎5744-1503 ■http://www.city.ota.tokyo.jp/



梅屋敷

由緒ある梅の名所にちなみ、白梅、紅梅をイメージした白と薄ピンクを基本色とします。これに京急カラーのブルーを加えた、めりはりのある色彩です。



大森町

地元の名産品「海苔」をイメージしたグリーン系で統一。アクセントカラーに白と青を使います。



京急蒲田

第一京浜沿いに建つことから、ドライバーの視線を意識し、落ち着いたベージュ系でイメージを統一しています。

雑色



雑色

「活気と親しみが持てるまち」「変化し続けるまち」として、気持ちを和ませるグレーの濃淡を基調に、京急カラーのブルーでアクセントをつけます。



糞谷

京急蒲田駅から分岐する空港線1つ目にあるこの駅では、黄色のアクセントカラーで町並みに明るさを加えます。

完成イメージ図の向き

大森町



未来のまちへ
出発進行!

「大田区は、京急線沿線のまちづくりを進め、まちの活性化を図ります。また、京急線沿線のまちづくりを進め、まちの活性化を図ります。また、京急線沿線のまちづくりを進め、まちの活性化を図ります。」

京急線 連続立体 交差事業

誕生します まちの昔で彩るこの駅舎

明るく親しみやすい駅舎で 新しいまちづくり



色彩等検討委員会は、駅舎の建て替えにあわせ、まちのイメージを一新するような駅舎を作ろうと、区や沿線の自治会・町会、商店会などが中心となり発足。区民アンケートの実施や数回の検討委員会を経て、6月に東京都の景観条例にも配慮した色彩イメージを発表しました。この色彩イメージを本設計に生かし、皆さんの声を反映した、まちの顔ともいえる駅舎が完成します。また線路により分断されていた地域がひとつになることで、さらなるまちの発展が期待されます。

色彩等検討委員会は、駅舎の建て替えにあわせ、まちのイメージを一新するような駅舎を作ろうと、区や沿線の自治会・町会、商店会などが中心となり発足。区民アンケートの実施や数回の検討委員会を経て、6月に東京都の景観条例にも配慮した色彩イメージを発表しました。この色彩イメージを本設計に生かし、皆さんの声を反映した、まちの顔ともいえる駅舎が完成します。また線路により分断されていた地域がひとつになることで、さらなるまちの発展が期待されます。

環8部分の仮立体(上り線)が来春完成予定!

現在、京急線の高架化が着々と進んでいます。来春には、環状8号線部分の仮高架橋(上り線)が完成します。これにより、踏み切りを通る電車の運行本数が減少し、交通渋滞の緩和が見込まれます。24年度の高架化の際には、環状8号線と第一京浜の立体化も実現し、京急蒲田駅周辺が大きく変わる予定です。これからも沿線で関連する工事を行います。引き続きご理解、ご協力をお願いします。



工事が進む環状8号線仮高架橋